

2011年4月23日・24日・25日

○BRA・盛岡JC・奄美大島JC・川内JCによるニーズ調査、マイクロバス提供

BRAの移動・宿泊用としてマイクロバスを提供。

内容：山田町自宅避難者のニーズ調査。

ボランティアの依頼のチラシ配布と配布済み地域の再ニーズ調査。

2011年4月24日

○JCによる炊出し山田高校

炊き出し(22日雲助鍋500人分、23日鶏雑炊300人分)

実施日:平成23年4月22日(金)~23日(土)

参加者:井伊寛隆理事長、大村敏之直前理事長、前田義之監事、木内澄人専務理事  
矢岸泰男、水野達弥、佐藤良太、前田篤志、古屋英将、西島常祥  
対馬吉朗、望月良則(合計12名)

2011年4月13日

○BRAと盛岡JCメンバーによるニーズ調査

BRAと盛岡JCメンバーにより、ニーズ調査がスタートしました。

たくさんのニーズを拾い上げ、早期の復興を願います。



2011年4月11日

○チームパキスタン・ボランティア活動(三日目)

場所:山田町ボランティアセンター、各避難所

メンバー:BRA チームパキスタン

活動内容:①ミーティング(午前7時30分)

・BRAチームは昨日同様、支援物資の各避難所への配送業務を受け持ちました。

②避難所まわり(ニーズ調査等)・午前中、避難所以外の家屋の残っている地区廻りも  
行い、地元の方々からニーズの拾い出しと物資の配布を行いました。ここでは自

衛隊の配給が夕方のみということで、基本的に食料も物資も全体的に不足している  
ということです。

③広島から来ておられたボランティアの方々とお話をする機会が有りましたが、自分達  
の活動の場をもっと提供してほしいとの要望がありましたので一連のスケジュールリン  
グを設定しました。

ニーズの拾い出し⇒情報の精査・データ化・マッチング・オリエンテーション⇒現場  
以上の流れを一日も早くスムーズに動かす事が必要です。

④各避難所の横の連携・情報交換も出来るようになれば、物資の融通が出来たり するかと思  
いますので、避難所連絡協議会のようなものがあればよいのではないかと思います。

### ○山田町保健センター前炊出し

場所:山田町保健センター前

メンバー:広島 JC(1人)、東広島 JC(1人)、BRA メンバー(杉井)

活動内容:炊出し(牛丼 300 人分)



2011/04/11

場所:山田町保健センター前

メンバー:沼津 JCOB(1人)及び沼津の方6人

活動内容:カニ雑炊(500人前)、お汁粉(500人前)、焼肉(200人前)



**2011年4月10日**

**○チームパキスタン・ボランティア活動(二日目)**

場所:山田町ボランティアセンター、各避難所

メンバー: BRA チームパキスタン

活動内容:ミーティング(午前8時) 下記の事項について BRA が担当することの確認

- ・避難所に入っていない一般の方々に対するニーズの拾いだし作業としての「ボランティアセンター開設」のチラシの宅配。
- ・本部にてボランティアの受け付け及びそれに伴うマッチング、オリエンテーション及びそれに伴うマッチング。

一般ボランティア受け付け開始(午前9時)

- ・ボランティアが、思うように人が集まらず、棚卸作業に着手。

各避難所への支援物資配布及びニーズの聞き取り(午後より)

ミーティング(午後5時)

- ・各団体より、昨日よりも、一歩前進した報告あり。
- ・北海道町村会より、自衛隊と警察と連携しており、瓦礫の撤去作業などで安全がある程度確保されしだい、ボランティアを現場に派遣すると報告あり。

- 留意事項:
- ・物資配布において、担当職員の方から、全員に行き渡らない物資の配布は、不公平感を伴うので出来れば控えて欲しいという苦情が役場に寄せられていたそうです。
  - ・特に不足しているとの要望は、肌着・靴下・バスタオルなどです。女性用の防寒着はかなり支援物資として集まっていたのですが、体格の大きな方も多く、Lサイズのもが足りていませんでした。男性用の作業服のニーズも多く寄せられています。

**○大槌町安渡小学校炊出し及び当該炊出しに伴う資材搬入**

場所:大槌町安渡小学校

メンバー: 関西大学社会連携部地域連携マネージャー社会福祉士の藤原さん及び学生 30 人くらい、

村田(盛岡 JC)、田中(盛岡 JC)、吉田長美(盛岡 JCOB)、岩手ブロック(水沢 JC)メンバー8人  
活動内容:岩手県立大学から現地(大槌町安渡小学校)に資材搬入  
炊出し(たこ焼き)  
現地の子供たちとの交流(※子供たちは岩手ブロック(水沢 JC)メンバーが各避難所に  
待機している子供たちに声をかけ集まってもらいました)



### ○大船渡リアスホール隣接公園炊出し(たこ焼き)及び子供たちとの交流

場所:大船渡リアスホール隣接公園

メンバー:神戸学院大学学生(30人)、岩手県立大学(10人)、水沢 JC7名、岩手ブロック会長、吉田(盛岡 JCOB)

活動内容:炊出し(たこ焼き)、子供との交流(サッカー、野球、縄跳び、オセロ、風船ゲーム)

2011年4月9日

### ○チームパキスタン・ボランティア活動(二日目)

場所:山田町ボランティアセンター、山田町役場

メンバー:BRA チームパキスタン(中野理事、他3名)、川村(盛岡 JC)

活動内容:①支援物資搬入(トマト21ケース約400個、バナナ10ケース約750本、プリン10ケース約1000個)

## ②ボランティアセンター運営方法についての協議(組織図、指揮命令系統の確立)

※社会福祉協議会事務局担当者様、吉山理事、川村

・組織図の作成や指揮命令系統の確立をどのようにするのかを協議いたしました。

この協議では全国各地から支援に入っているボランティア団体をいかに上手く連携させるのか、又、それぞれの団体の得意分野を生かした職務分掌を早急に決定する事が重要であるという事が話し合われました。

## ③夕方5時からのミーティング参加

・BRAはメンバーが入替わりながらも継続した支援を行っていく事を発表しています。

### 写真



2011年4月4日

### ○大槌町小槌地区物資輸送

作業日時

2011年4月4日(月)13:00~16:00

場所:大槌町小槌地区

内容:被害のないエリアである小槌地区に物資があまり届いていないとの情報を受け物資輸送

小槌エリア末端の避難地である小槌多目的施設において物資配布

作業者:小笠原(BRA)、野口(BRA)、石本(BRA)、原田(BRA)、近藤(今治)

考 察:現地の民家は損傷はなく、住民避難民ともに民家にいる可能性が高く、当集会所に時折物資を取りに来るとのこと民家レベルでの補給体制に難がある模様。我々の物資も、取りに来た現地住民・民家への避難民の方々にも分けてくださいとお願いしておきました。

2011年4月4日

### ○陸前高田市ボランティアセンター テント搬入

場所:陸前高田市ボランティアセンター

内容:陸前高田ボランティアセンターへテント搬入とニーズ調査



